

11502自動車・同付属品製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物 (小)	労 働 者 規 模
1	2020	1	14 ～ 15	ボディー床下で鋼製横根太に電動ドリルにて穴開け作業中、貫通直前にドリルの刃が噛み込んでドリルの持ち手側が回転した。その際、スイッチ側のハンドルとともに右手が捻転し、右手第4指中手骨を折った。	33	7	159	30～ 49
2	2020	1	11 ～ 12	車両を保管する場所（モータープール）に面している通路で指定された場所へ自走で車両を搬送する作業中、作業員4名をBOX車（足車）へ乗車させ起点となるモータープールへ戻る際、進行方向左側の通行禁止エリアより別の車両が通路へ飛び出してきた。そのため、急ブレーキを掛けて停車した際、急ブレーキの衝撃により作業員同士が接触し、胸背部、腰部に挫傷を負った。	36	19	231	100～ 299
3	2020	1	5 ～ 6	空箱容器を回収するために、部品加工ラインの裏側通路を進み右折した際、通路の幅が狭かったことから通路の端にあった加工整備附带のタンクを固定するアンカーボルトにつまずき、前方へ転倒し、胸部、顔、頭部を強打した。	60	2	391	100～ 299
4	2020	1	8 ～ 9	本社工場内で、型加工場から小型プレス機の設置場に歩いて移動していたところ、後方から近付いてきたフォークリフトと接触し、転倒した際、右踵内側部分に裂傷を負った。	75	6	222	10～ 29
5	2020	1	16 ～ 17	ホイール製造工場、再スピニング加工を手動で行っていた。加工後、インナー型に張りついたワークを外す際、外れたときワークが落下しないよう、芯押しをワークに近付けたまま機械の押し出し操作中、ワークがインナー型から外れたとき、ワークと芯押し	22	7	169	50～ 99

				しの中に指を挟まれ、左手人差し指の指先を削ぎ落とした。				
6	2020	1	17 ～ 18	組立工場、フロア（地面から高さ90cm）下で中腰になり、上向き姿勢で溶接作業中、耳栓を未装着のため飛び散った火花が左耳に入り、鼓膜を損傷した。	19	4	332	100～ 299
7	2020	1	10 ～ 11	工場、部品の払い出し作業中、別の作業者がパレットの置場が違ふことを注意し、被災者の反応がなかったため激昂し、被災者の胸部を掴み倒した。その際、左肘、右足、左足を負傷した。	38	99	921	1000 ～ 9999
8	2020	1	16 ～ 17	工場内で、アーム掛け作業中、横40cm、縦60cm、高さ30cm、重さ1kgの製品を箱から出そうと指を入れた際、製品のエッジ部分で左人差し指付け根を切った。	40	8	521	10～ 29
9	2020	1	7 ～ 8	工場、エアブロー作業中、油が床に飛散しており、滑り転倒し、右手を床につき、右手首に挫傷を負った。	19	2	417	500～ 999
10	2020	1	5 ～ 6	通勤バス乗車中、交差点で、運転手の居眠により、ガードレールと電柱に衝突し、頭部打撲、頸部挫傷を負った。	20	17	231	1000 ～ 9999
11	2020	1	5 ～ 6	通勤バス乗車中、交差点で、運転手の居眠により、ガードレールと電柱に衝突し、両下腿・右手に打撲傷を負った。	36	17	231	1000 ～ 9999
12	2020	1	5 ～ 6	通勤バス乗車中、交差点で、運転手の居眠により、ガードレールと電柱に衝突し、頸椎捻挫、腰部・背部に挫傷を負った。	29	17	231	1000 ～ 9999
13	2020	1	5 ～ 6	通勤バス乗車中、交差点で、運転手の居眠により、ガードレールと電柱に衝突し、頸椎捻挫、左膝に打撲傷を負った。	31	17	231	1000 ～ 9999
14	2020	1	19 ～	工場、グラインダーで部品の手直し加工中、グラインダーのゴム砥石が割れ、破片が左目に当たり、眼球を打撲し、前房出血を	34	4	153	50～ 99

			20	負った。				
15	2020	1	11 ～ 12	工場内で作業中、ワークがずれているのに気づき、下降しているプレス機に右腕を入れ、安全装置を体で遮断し異常停止をした際、右腕上腕部が挟まれた。このとき、右腕上腕部を開放骨折した。	60	7	154	100～ 299
16	2020	1	7 ～ 8	工場、自動車用ブレーキ部品MOC（大きさ14cm位、重さ約2kg）を両手で持ち、設備に脱着作業、部品全体の目視検査を約2時間1日4回行っていた。後日、左手首に痛みを感じ、三角線維軟骨複合体損傷を負った。	23	19	529	500～ 999
17	2020	1	7 ～ 8	8t低周波炉のデッキ上で地金除去作業を行っていた際、付着していた地金が外れ、反動で2200mm下のフロアに転落して左手首を骨折した。	44	1	414	10000 ～
18	2020	1	16 ～ 17	ヘム機プレッシャーパットシリンダーからエア漏れが発生したため、シリンダーを交換していたところ、ゆっくり動いているのに気付かず、左手親指をシリンダーヘッドと取付けプレートの間で挟み、左手親指開放骨折を負った。	32	7	159	1000 ～ 9999
19	2020	2	9 ～ 10	工場、砂砕内の発泡スチロール取り除く作業中、発泡スチロールを切断しようと体勢を前に傾けた際に腰部に痛みが走り、腰痛を発症した。	52	19	921	100～ 299
20	2020	2	18 ～ 19	工場にて、センタープレス工程で、工程作業者の作業を被災者が引き継ぎ、ヒーターダクトを取り付けようとした。固定する際、はめ込みにくく揺すってセットしようとしたところ、右手に持っていた位置から滑った。そのとき、右手人差し指上面がセンタープレスブラケットに当たり、右手人差し指に切創を負った。	33	8	521	1000 ～ 9999
21	2020	2	8 ～ 9	工業所内で、ベンダーの型の交換作業をしているとき、作業用のペダルに足が当たって踏んだため、機械が作動して指を挟み、左手手中指・薬指・小指を骨折した。	35	7	154	10～ 29

22	2020	2	15 ～ 16	工場内で備品を取りに行く途中、プラスチック製の製品箱が通路に出ていることに気付かず、足を引っ掛けて転倒した。その際、右膝蓋骨を折り、左手関節に挫傷を負った。	58	2	379	10～ 29
23	2020	2	23 ～ 24	中子（研型）成形品のバリ取り作業後、リフターのスイッチを動作させた際、両手押しのスイッチのため、バリ取り用やすりを落とした。やすりを拾うときに、リフターの下に右肘を挟み捻挫した。	35	7	214	30～ 49
24	2020	2	14 ～ 15	工場、パレットに積み込み作業中、つまずき転倒し、左膝を強く打撲を負った。	63	2	417	50～ 99
25	2020	2	16 ～ 17	工場、シリンダーヘッド素材自主検査作業中、バリ除去を行った際、右手に持っていたハンマーで左手の甲を叩き、左手甲に打撲傷を負った。	26	3	364	1000 ～ 9999
26	2020	2	18 ～ 19	機械の整備作業の際、金型のインローに油を塗っていたところラムが勢いよく下降し、右手が挟まれて第1～4指を切断し、挫滅創を負った。	42	7	155	300～ 499
27	2020	3	19 ～ 20	BTA作業を行っている際に、ワークをセットし作業台を下りたとき、ワーク吊り具が引っ掛かりお尻に裂傷を負った。	49	8	372	10～ 29
28	2020	3	10 ～ 11	当社屋内の作業場内で前処理作業をしているときに、スペアタイヤを持ち上げたところ、不自然な姿勢になって、腰部にヘルニアを発症した。	43	19	529	—
29	2020	3	2 ～ 3	工場、フォークリフトを後退させていたとき、ブレーキが利かなくなり、飛び降りた際に左足甲を骨折した。	36	3	222	10～ 29
30	2020	3	11 ～	施設内で、製品の切削作業中、完成品が出てくる場所に誤って加工前の製品をセットした際、下降してきた機械と製品に右手を挟	40	7	159	300～ 499

			12	み、右手示指に打撲を負い、右中指に挫滅創を負った。				
31	2020	3	14 ～ 15	材料ストックヤードで、棚卸作業中、材料（2kg）を投げた際、第三者がいるとは気付かず、声掛けもしなかったため、右足甲に当たり、右第5趾と右足に挫傷を負った。	55	4	521	50～ 99
32	2020	3	6 ～ 7	工場内で、タイヤを完成品棚の7段目（高さ160cm以上）に載せる際、勢いを付けて載せたため、左肩関節捻挫を負った。	61	19	921	50～ 99
33	2020	3	13 ～ 14	2段積みされた上段網パレット内の部品を員数確認するため、下段網パレットと上段網パレットの隙間に足を掛けて作業をしていた。終了後、地上に降りる際に足を滑らせ、上段網パレットを掴んだ状態で体が落下したため、左脇腹が伸びた体勢となり、左肋骨2本を折った。	42	1	372	100～ 299
34	2020	3	5 ～ 6	休憩後、職場へ戻ろうと工場敷地内を歩行中、鑄造工程から出るドロスを破棄するため、フォークリフトが後進してきて左足を轢かれ、左足多発性骨折を負った。	40	7	222	100～ 299
35	2020	4	11 ～ 12	工場クリーンルーム内で、ロール状の製品が入ったタイヤ（直径100cm、重さ約20kg）を移動させようと、後ろ向きで引きずっていたところ、床の配線カバーに足が引っ掛かり、尻もちをついて、腰部と背部に挫傷、第1腰椎圧迫骨折を負った。	52	2	417	10～ 29
36	2020	4	10 ～ 11	通常作業とは異なる作業（チェーン用ケースの作成、ケース詰め、カートン梱包荷物の積み下ろし）を継続したところ、以前からあった首から手にかけての痛みが悪化し、頸肩腕症候群を発症した。	44	19	921	100～ 299
37	2020	4	15 ～ 16	工場で、洗浄機前のかんばんシュートガイド溶接の?れた部分に、ズボンが引っ掛かり転倒しそうになり、右手をつき、頸椎椎間板ヘルニアを負った。	29	2	169	1000 ～ 9999
			14	屋外でトラックの荷降ろし中に、荷物が載っているパレットを手				

38	2020	5	～ 15	前に出そうと屈んで引っ張ったとき、掴んでいたパレットが欠けて、荷台より後ろ向きで1m下のアスファルトに落下し左肩背中付近を強打して、左肋骨を折った。	50	1	221	50～ 99
39	2020	5	～ 15	工場大型タンクラインで残部溶接作業中、タンクの向きを変えるためにクレーンを使用して2点吊りで吊り上げた。その際に、片側のチェーンフックがアイボルトから外れて落下し、タンクが左足脛にぶつかり、打撲および、捻挫、擦過傷を負った。	19	4	361	100～ 299
40	2020	5	～ 10	交換工事にて、ピストン取り外し中、台座に載せる段取りだったが、台座に載せる前に、ナットを緩めすぎて落下したピストンに挟まって、左手指に創傷を負った。	40	6	169	10～ 29
41	2020	5	～ 11	80tプレス加工で、安全装置下側より右手にワークを投入した際、稼働装置に触れてしまい、右手人差し指、中指、薬指を切断し、小指を骨折した。	46	7	154	10～ 29
42	2020	5	～ 9	8 工場で機械の部品交換時、機械の中に手を取られ巻き付いて、左手親指を骨折した。	19	7	159	1～9
43	2020	5	～ 15	14 工作機械のメンテナンス作業中、製品を固定するクランプの起動開始ボタンを押した際、製品の傾きを直そうとして左手を近づけたところ、動き出したクランプと製品の間に中指が挟まれて骨折・裂傷を負った。	36	7	151	50～ 99
44	2020	6	～ 14	13 タンク仕切り板を補正していたところ、右肘に痛みが生じ、右肘を捻挫し、右尺骨を折った。	34	3	391	30～ 49
45	2020	6	～ 15	14 作業場で廃棄する機械を運び出すため、4人で横に倒したときに、右手人差し指の先を機械と台木の間に挟み、骨折した。	57	7	169	10～ 29
			13	マスクをしていて（コロナ対策）、下が見えづらい状態で椅子に				50～

54	2020	7	17 ～ 18	会社の車庫で鉄骨の荷締め中、足をつまずいて転倒し、鉄骨に鼻をぶつけ、右鼻翼挫創を負った。	58	2	417	10～ 29
55	2020	7	12 ～ 13	工場で、リフトでエンジンを吊り上げ車体に移動中、無理な姿勢となり、一時的な痛みがあった。別の作業をした際、右手を打ち、右肩腱板を断裂した。	40	19	521	1000 ～ 9999
56	2020	7	17 ～ 18	工場内加工機で、ワーク不足のパトライトが点灯しており確認作業中、ローラーシュートから下りる際、足をひねり、左足関節前距腓靭帯損傷を負った。	45	3	417	1000 ～ 9999
57	2020	7	5 ～ 6	工場内の自転車置場で、自転車に乗る際、ハンドルを握る前にペダルをこぎ始め、バランスを崩し転倒した。このとき、右手親指・左膝・頸椎・腰椎に捻挫、打撲を負った。	22	2	362	100～ 299
58	2020	7	22 ～ 23	施設内で、空容器返却用コロコンの上に、他部品をコロコンに段入り後、コロコンの上を歩行した際、転倒して、右足関節外側靭帯損傷を負った。	51	2	224	100～ 299
59	2020	7	11 ～ 12	丸鋸切断機でハイツ材の切断作業中、ハイツ材のセット位置を修正するため左手を入れたところ、ノコ刃が回転したままの状態だったため軍手が巻き込まれ、人差し指と中指の間を不全切断した。	28	7	159	100～ 299
60	2020	7	19 ～ 20	粉碎機のつまり除去作業中、ベルトに引っ掛かりがあり、引っ張った際（電源はOFF）、解消したが、その反動で回転部に右手を挟み、薬指を骨折、小指に裂傷を負った。	26	7	162	50～ 99
61	2020	8	16 ～ 17	工場内で、電動式チェーンブロックで部品をパレットに並べる作業中、仮置きした部品がパレットから落ちそうになり手で押さえようとしたところ、部品と部品の間に右手の親指が挟まれ骨折した。	46	7	219	30～ 49
			16	プレス加工エリアで、金型を外ラックから移動して、プレス機の				

62	2020	8	～ 17	キャリアバーに載せた。その後、金型をボルスターに移動させるため足を踏ん張り、両手で強く押したとき、左足首に違和感があり、左足アキレス腱断裂を負った。	60	19	379	50～ 99
63	2020	8	～ 16	自社の車両板金塗装工場で、車の前部分をジャッキで持ち上げ、前バンパーの取り外し作業を行っていた。そのとき、ジャッキの鉄パイプに足を引っ掛けて転びそうになり、地面に着地した際、右足にアキレス腱断裂を負った。	66	19	361	1～9
64	2020	8	～ 11	熱処理前の製品カゴをリフター部へ投入したとき、製品カゴがずれたので位置を調整しようとした。トラバーサーを動かしてリフター前に移動したとき、製品カゴがリフター部から落下し、右足骨と肋骨を折った。	64	7	611	500～ 999
65	2020	8	～ 17	施設内で、金型補修作業中、下型を確認するため上型に右足を置く際、踏み外し、枕木に引っ掛け、右足をひねり骨折した。	62	19	159	100～ 299
66	2020	8	～ 15	敷地内で、ユニックで走行中、伸ばしたブームが高さ表示看板と配管に当たり、ユニックの車体が跳ね上がり、胸椎を破裂骨折した。	45	3	212	1000 ～ 9999
67	2020	8	～ 20	鉄板の補充作業中、機械に詰まっていた鉄板を右手で整えた際、機械が動き、左手が挟まれ、挫傷を負った。	42	7	169	10～ 29
68	2020	8	～ 15	会社のごみ置き場でごみを捨てようとしたとき、油で足が滑って左足が下水の溝にはまり、ごみ置き場の囲の鉄板で左手首と肘の間に切創を負った。	49	2	417	1～9
69	2020	9	～ 1	自動車部品の塗装後、検査をして専用台車へ格納する際、台車のフックを強く下ろして左手人差し指を挟んでしまい、骨折し切傷を負った。	25	7	362	50～ 99
			15	プレス機でネジ修復中に、上パッド固定のボトルネジが折れて支				100～

70	2020	9	16	～	えていた手ごと上パッドが落下して手を挟まれ右手親指付け根を骨折した。	38	7	154	299	
71	2020	9	16	～	事業所内にて幅詰機で角取り作業中、円型の製品を治具に取り付けていたときに、無意識に機械下部に手を入れて、治具と排出棒に右手中指を挟まれ先端1cmほど欠損を負った。	64	7	159	10～ 29	
72	2020	9	10	～	11	ハートコクリッパー工具を清掃中、工具先端よりごみが出てきたことに気付き、先端部のごみを右手人差し指で除去していたとき、左手でトリガーを引いてしまい工具に挟まれ、右手人差し指先を切断した。	49	7	169	50～ 99
73	2020	9	11	～	12	倉庫内にて、棚の手前側でピッキング作業中、他の作業員が棚の奥側最上段に一時置きしてあったプラダン製通い箱をピッキングし、両手で持ち移動していた。そのとき、通路が狭く、通い箱を頭上に持ち上げ、被災者の後方をすり抜けた直後に、通い箱のバランスが崩れ被災者の頭に落下し、頭頂部に打撲を負った。	39	4	611	1000 ～ 9999
74	2020	9	10	～	11	工場ではブレーキパットの製造中、素材を熱硬化させるためのキュア炉を整備していたところ、手足のしびれ等の症状があり、過労による過呼吸が生じた。	31	11	715	30～ 49
75	2020	9	10	～	11	工場では、穴開け（穴径を12Φから13Φに広げる作業）作業中、治具を使用せずワークを手で押さえたため、ボール盤ドリルがワークに食いつき、ワークがドリルと一緒に回転し、左手環指とワークが接触し、挫創を負った。	41	6	152	50～ 99
76	2020	9	16	～	17	工場敷地内で、シール付きウレタン材料（1050mm×700mm×17mm、重さ800g/枚）を移動中、空パレット（1000mm×1200mm×130mm）に乗り移動する際、足を踏み外した。このとき、左足脛骨、腓骨を折った。	43	3	417	50～ 99
77	2020	9	14	～	15	工場内で、昇降機を使用し3階から1階に製品を下ろす作業中、昇降機の扉をまたぎ入った際、昇降機が落下し、バケットの上部と2階床に左大腿部が挟まれ、左大腿内側広筋断裂を負った。	33	7	214	100～ 299

78	2020	9	13 ～ 14	工場で、炉の調子が悪いため、数時間程度調査した際、重い頭痛に襲われ、一酸化炭素中毒を負った。	53	12	514	100～ 299
79	2020	10	23 ～ 24	組み立て工場のファイナル工程で車両バックドア廻りの部品を組み付け中、目まいを起こし、エルゴステップ（高さ190mm×幅300mm×長さ1000mm）から崩れるように転倒した際、右手を床につき手首をひねって捻挫した。	75	2	416	1000 ～ 9999
80	2020	10	8 ～ 9	夜勤終了後、帰宅するために工場から出る際、歩行者通路に製品台車のはみ出していたため、通路ではないフォークリフト横を通行して、フォークリフト充電ケーブルに足を引っ掛けて転倒し、床に右肩を打ち脱臼骨折した。	57	2	417	100～ 299
81	2020	10	17 ～ 18	踏み台上で、パーツフィーダの充填作業中、踏み台から下りた際に踏み外し、尻もちをつき、腰椎を圧迫骨折した。	67	1	371	50～ 99
82	2020	10	18 ～ 19	工場内で、熱カシメ機の電極交換作業中、上型電極の天井部の上に左手を添えたため、動作開始する際、上型電極の天井部とラムシリンダーの間に左手が挟まれた。このとき、左手人差し指・中指・薬指を開放骨折した。	34	7	159	50～ 99
83	2020	10	14 ～ 15	治具加工場で鋼材を切断機に載せる際、左肩に痛みが生じて、左肩筋断裂を負った。	64	19	521	100～ 299
84	2020	11	9 ～ 10	工場トラックターミナルで納品用プラ箱を運搬中に、段差のある通路を視界がさえぎられた状態で歩行し、転倒して左足小指を骨折した。	58	2	417	50～ 99
85	2020	11	15 ～ 16	工場内でパイプ曲げ加工をしていた際、パイプ固定用クランプに手を挟み左手中指を骨折した。	56	7	169	10～ 29

86	2020	11	14 ～ 15	溶接作業エリアでプレス機を使用し、製品をプレスしていた。安全装置のスイッチを切った状態で、手で製品を押さえプレス作業を行い、プレス機のスライド上昇を掛け忘れ型が急に落ちてきて、指を挟んで右手中指を骨折し、左手中指に裂傷を負った。	48	4	154	10～ 29
87	2020	11	11 ～ 12	ロボット溶接ラインで、シリンダーの動作が悪いため、エリアセンサーを遮断途中で動作を停止させた。手を伸ばしシリンダーに触る際、上からクランプが下降し、右手甲と掌をクランプと治具の間に挟み、右手掌に挫滅創を負った。	53	7	339	50～ 99
88	2020	11	14 ～ 15	ベッドの加工作業中、ドライバーで穴あけ作業した際、穴開けが不慣れだったため、力が入り、胸椎椎間板症と右肋骨骨膜炎を発症した。	38	19	159	30～ 49
89	2020	11	7 ～ 8	工場1階クリーンルーム内通路で、完了品を積んだ棚車（200kg）を押して運搬中、他の作業者が移動中のため一旦停止し、後方から棚車を運搬した作業者は気付かず、棚車をぶつけ、右足ふくらはぎに当たり、右下腿を負傷した。	58	6	362	50～ 99
90	2020	11	21 ～ 22	工場中、車両の足廻り部品（23kg）の運搬中、部品を台車に載せる際、部品棚のストッパーを掛け忘れ、部品が棚（床上90cm）から落下し、右膝に当たり、右膝部挫傷を負った。	58	4	521	1000 ～ 9999
91	2020	11	11 ～ 12	スポット溶接機で作業中、指が製品と電極の間に入っている状態で、フットペダル（スイッチ）を踏んでしまい、左手人差し指先端に裂傷を負った。	17	11	339	10～ 29
92	2020	11	9 ～ 10	工場中、2段積みされた製品台車の出荷準備を行うため、2m程高の場所にあるラベルホルダーの中に入っている紙を出荷用の紙と入れ替えようとして、つま先立ちで両手を伸ばした際、腰痛捻挫を負った。	20	19	361	50～ 99
93	2020	12	16 ～	生産技術室へバキュームポンプを借りに行った際、ポンプがドラム缶の口に接続されており、そのドラム缶は油圧ジャッキに設置された状態で、床面から10cmほど上がっていた。両手でポンプ	38	4	611	100～

			17	を外そうと左右に揺らしたところ、ドラム缶が下がり、右足親指を挟んで基節骨を折った。				299
94	2020	12	8 9	工場、リフト作業員が運転し出荷品を搬送中、リフトの運転操作を誤り、被災者を扉方向に押した。その際、リフトと扉の間に挟まれ、骨盤と手を骨折した。	48	7	222	10～ 29
95	2020	12	23 24	工場内で、部品を積込後、左足を台の下に入れており、架台の下部と支柱に左足を引っ掛け、後方へ転倒した。その際、右大臀筋挫傷を負った。	51	2	417	300～ 499
96	2020	12	9 10	作業場で、先に真鍮のブラシが付いているドリルを使用して、車の部品の埃を取っている際、軍手が巻き込まれて、左手親指先を切断した。	24	7	159	1～9
97	2020	12	16 17	ペレット材料貯蔵専用サイロ内で材料の排出作業をしていた際、開閉シャッターの操作レバーに足が接触してシャッターが閉まり、首から胸にかけて圧迫され、外傷性窒息により死亡した。	44	7	391	50～ 99
98	2020	12	10 11	被災者は、塗装工程ラインで、新型コロナウイルス感染陽性が判明した作業員と同一職場で勤務していて、PCR検査により陽性が判明した。	19	90	911	10000 ～
99	2020	12	10 11	被災者は、塗装工程ラインで、新型コロナウイルス感染陽性が判明した作業員と同一職場で勤務していて、PCR検査により陽性が判明した。	20	90	911	1000 ～ 9999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#) に戻る。